

## 事前試験研究

---

研究課題：トウモロコシ蒸留粕 (DDGS) を使用した低魚粉飼料試験

担当者名：名倉 盾

予算区分：県単

研究期間：平成 23 年～平成 24 年

---

## 背景および目的

山梨県は、ニジマス生産量 3 位、その他ます類生産量で 4 位である。

しかし、餌の主原料となっている魚粉の価格の高騰で、生産原価は上昇しているうえに、魚粉価格が今後下がる兆候は見えない。

水産技術センターでは、魚粉の代わりとしてトウモロコシ蒸留粕を使用した餌を使用して、ニジマスの飼育試験を行い、成長等の確認を行う。

なお、この試験は全国養鱒技術協議会の養殖技術部会連絡試験として行う。H23 の連絡試験は、青森・栃木・山梨・静岡の 4 県で実施する (H24)。

## 材料および方法

試験は、忍野支所で現在飼育しているニジマスを使用する。平成 24 年度は小型魚 (60～150 g) による水槽試験を行う。

餌は魚粉配合割合を 20% 台まで落とし、主に DDGS で魚粉を代替したものを使用する。

## 試験内容

低魚粉飼料と通常飼料 (魚粉配合割合 40～50%) で飼育し、成長・日間増重量・飼料効率・肉質 (栄養)・増肉単価を比較する。

## 期待される効果と活用面

- 飼料の主原料であり、価格高騰の要因ともなっている魚粉の配合割合を減らせれば、餌代による経営圧迫を減少させることができる。
- 低魚粉化が、飼育に与える影響を検討し、普及につなげることができる。
- DDGS が魚粉代替に有用であることが判明し、使用量が増加すれば、さらなる低価格化が期待できる。